

はじめに

1 計画策定の背景

本市は、静岡県の東部、富士・箱根・伊豆の玄関口に位置し、古くは奈良時代に伊豆国の国府が置かれ、この地の政治、経済、文化、交通の中心地として、鎌倉時代には、源頼朝の崇敬の篤かった伊豆国一宮である「三島明神」の門前町として栄えた。

時代が下り江戸時代になると、東海道の難所、箱根の険を控えた東海道五十三次の宿場町の一つとして賑わいをみせていた。

源頼朝が源氏再興を祈願した三嶋大社は、古くより多くの人々の崇敬を集め、今なお多くの参詣者がある。また田祭、追儺祭などの折々に行われる三嶋大社の神事は、人々の生活に根付いており、なかでも三嶋大社例大祭とつけ祭りは、今では三島を代表する市民参加型の夏まつりとなっている。大社の神事以外にも特徴的な祭礼として、伊豆佐野地区の「やっさ餅」や「吉田さん」、市南域の河川流域を中心に「お天王さん」信仰があり、各地区の氏神である神社を中心に良好な環境が形成されている。

江戸時代に徳川幕府により、天下の要衝である箱根峠を越える道として整備された、箱根旧街道の西坂沿道に形成された五ヶ新田では、各集落の氏神である神社において集落成立当時から続く祭礼や水神講などの活動が続いており、さらに、五ヶ新田の一つである山中新田（やまなかしんでん）地先の山中城跡は、北条氏により築城された小田原城の支城であることから、地域の誇りとして、集落の人々により維持管理活動が行われている。

また、三島には、「水の都」を象徴する富士山の雪解け水を源とする湧水があちらこちらにあり、それに伴う建造物としてカワバタ、活動として水神信仰や七月盆があり、良好な水環境が形成されている。

しかし、社会環境の変化に伴い、良好な景観を形成しているまち並みから三島らしさや歴史的な趣きが失われ、歴史的価値の高い建造物の維持管理が困難になってきており、また、少子高齢化の進展によって祭礼や伝統行事の担い手が減少していくおそれがある。

本計画は、こうした三島市を取り巻く状況を踏まえながら、平成20年に制定された「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（平成20年法律第40号。以下「歴史まちづくり法」という。）に基づき、三島市固有の歴史的風致を守り育て、次世代へ伝えていくために必要な事項を定め、本市がもつ歴史的資源を積極的に活用した、三島らしいまちづくりの推進に資するため「三島市歴史的風致維持向上計画」を策定するものである。

2 計画期間

この計画の期間は、平成 28 年度（2016）から平成 37 年度（2025）までの 10 年間とする。

3 計画策定の体制及び経緯

（1）計画策定の体制

本計画は、本市の庁内組織である「三島市歴史的風致維持向上計画策定検討会」における課題整理、計画の骨子案の立案及び歴史まちづくり法第 11 条に基づく「三島市歴史まちづくり協議会」における計画案の協議並びにパブリックコメントによる市民意見の募集等を経て策定した。

ア 三島市歴史的風致維持向上計画庁内策定検討会

本計画の策定に向けて、課題の整理及び歴史的風致、施策・事業案等の検討を行うため、平成 27 年（2015）4 月 1 日に「三島市歴史的風致維持向上計画庁内策定検討会」を設置し、計画の骨子案を作成した。

区分	職名
会長	都市計画課長
副会長	文化振興課長
委員	農政課長、商工観光課長、楽寿園長、政策企画課長、都市整備課長、土木課長、水と緑の課長、生涯学習課長
出席者	農政課農政振興係長、商工観光課観光政策室長、楽寿園管理係長、政策企画課戦略まちづくり室長、都市整備課街路係長、土木課市道・河川整備推進室長、水と緑の課水と緑の係長、生涯学習課生涯学習係長
アドバイザー	産業振興部長（まちづくり政策監）
事務局	都市整備部都市計画課 教育推進部文化振興課

イ 三島市歴史まちづくり協議会

三島市歴史的風致維持向上計画の作成及び変更に関する協議並びに計画の円滑な実施に係る連絡調整を行うため、歴史まちづくり法第 11 条に基づく「三島市歴史まちづくり協議会」を平成 27 年（2015）8 月 26 日に設置し、三島市歴史的風致維持向上計画庁内策定検討会において作成された計画の骨子案をベースに、3 回の会議を経て寄せられた種々の意見や助言などを踏まえ、計画案を作成した。

（平成 27 年度（2015））

分 野	氏 名	役 職
学識経験者	◎川口 宗敏	三島市景観審議会 会長
	○迫田 信行	三島市郷土資料館運営協議会 会長
	鈴木 勝彦	三島市文化財保護審議委員会 会長
	高見沢 実	三島市都市計画審議会 会長
重要文化財 建造物等所有者	鳥居 靖	三嶋大社 祜宜
関係団体の代表	塩見 寛	（公社）静岡県建築士会 静岡県ヘリページセンター（SHEC）センター長
	平井 敏雄	楽寿園運営委員会 会長 三島市観光協会 副会長
	大村 洋子	ふるさとガイドの会 会長
	山下 聖秋	自治会連合会 会長
関係機関の代表	植松 静夫	静岡県 交通基盤部都市局 景観まちづくり課長
	増田 曜子	静岡県 教育委員会 文化財保護課長
	佐野 貴洋	三島市 都市整備部 都市整備部長
	佐野 康仁	三島市 教育委員会 教育推進部長
事務局		三島市 都市整備部 都市計画課 教育推進部 文化振興課
オブザーバー		
国土交通省 中部地方整備局 建政部 都市調整官 藤井 利幸		

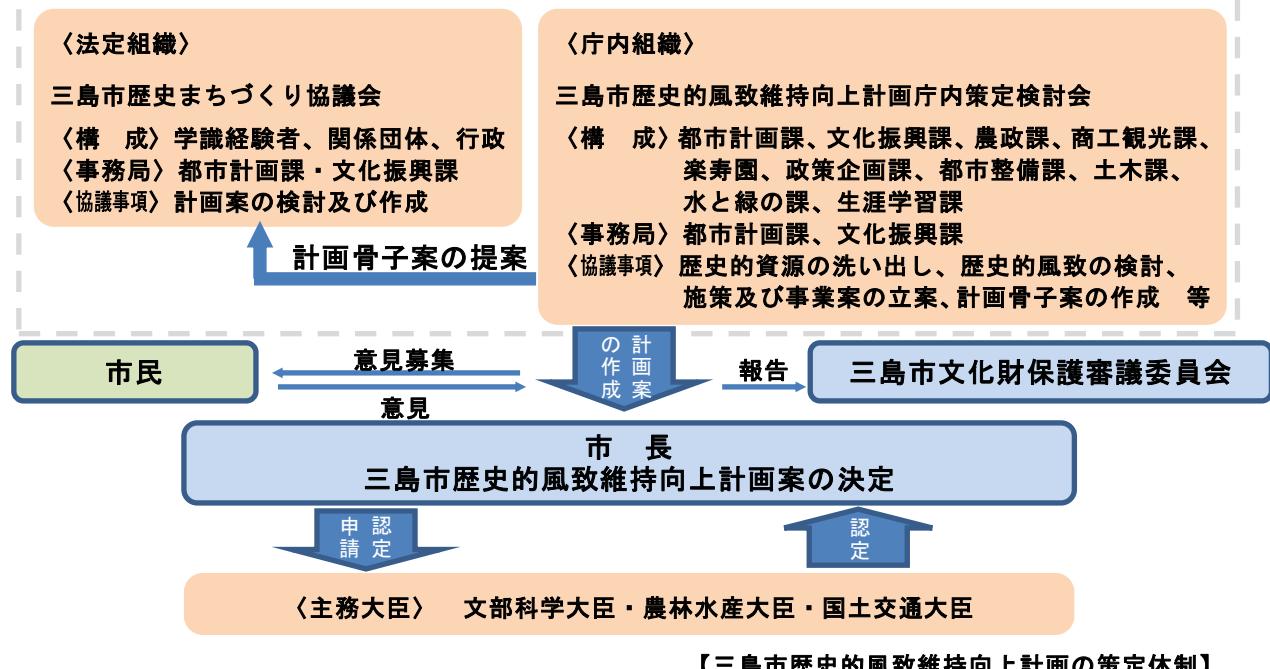
敬称略 ◎は会長 ○は副会長

(平成 28 年度 (2016))

分 野	氏 名	役 職
学識経験者	◎川口 宗敏	三島市景観審議会 会長
	○迫田 信行	三島市郷土資料館運営協議会 会長
	鈴木 勝彦	三島市文化財保護審議委員会 会長
	高見沢 実	三島市都市計画審議会 会長
重要文化財 建造物等所有者	鳥居 靖	三嶋大社 祜宜
関係団体の代表	塩見 寛	(公社) 静岡県建築士会 静岡県ヘリ テージセンター (SHEC) センター長
	平井 敏雄	楽寿園運営委員会 会長 三島市観光協会 副会長
	大村 洋子	ふるさとガイドの会 会長
	山下 聖秋	自治会連合会 会長
関係機関の代表	松木 正一郎	静岡県 交通基盤部都市局 景観まちづくり課長
	赤石 達彦	静岡県 教育委員会 文化財保護課長
	佐野 貴洋	三島市 都市整備部 都市整備部長
	小池 満	三島市 教育委員会 教育推進部長
事務局	三島市	都市整備部 都市計画課 教育推進部 文化振興課
オブザーバー		
国土交通省	中部地方整備局	建政部 都市調整官
		菅原 賢

敬称略 ◎は会長 ○は副会長

三島市歴史的風致維持向上計画案の作成



(2) 計画策定の経緯

ア 三島市歴史的風致維持向上計画庁内策定検討会

開催日	主な検討内容
第1回検討会 平成27年(2015) 4月8日(水)	・制度の説明 ・三島市において想定される計画内容 ・作成スケジュール等 ・想定される事業(案)の掘り起し
第2回検討会 平成27年(2015) 5月21日(木)	・三島市の歴史的風致の考え方 ・第2回3省庁事前相談の結果 ・想定される事業(案)の取りまとめ結果
第3回検討会 平成27年(2015) 7月1日(水)	・第3回3省庁事前相談の結果 ・歴史的風致について ・課題・方針・事業の整理について
第4回検討会 平成27年(2015) 8月4日(火)	・第4回3省庁事前相談の結果 ・歴史的風致について ・事業の現状について
第5回検討会 平成28年(2016) 1月14日(木)	・第5回3省庁事前相談の結果 ・三島市における歴史的風致について ・実施予定事業について

イ 三島市歴史まちづくり協議会

開催日	主な検討内容
第1回協議会 平成27年(2015) 8月26日(水)	・制度の説明 ・三島市において想定される歴史的風致(案)について ・課題・方針・事業(案)について ・作成スケジュール(案)
第2回協議会 平成27年(2015) 10月27日(火)	・三島市における歴史的風致(案)について ・現地視察
第3回協議会 平成28年(2016) 5月12日(木)	・三島市歴史的風致維持向上計画(案)について ・パブリック・コメントについて・

ウ 市民意見募集（パブリック・コメント）

実施期間	意見提出者・意見数
平成 28 年（2016） 6 月 10 日（金） ～7 月 11 日（月）	意見提出は 0 件だった。

エ 三島市歴史的風致維持向上計画の認定申請

認定申請日・認定日	内容
平成 28 年（2016） 9 月 13 日（火）	文部科学大臣・農林水産大臣・国土交通大臣 に対し、三島市歴史的風致維持向上計画の認 定申請
平成 28 年（2016） 10 月 3 日（月）	文部科学大臣・農林水産大臣・国土交通大臣 から、三島市歴史的風致維持向上計画の認定
平成 30 年（2018） 9 月 20 日（木）	軽微な変更の届出
令和元年（2019） 6 月 14 日（金）	軽微な変更の届出